

全体的な課題

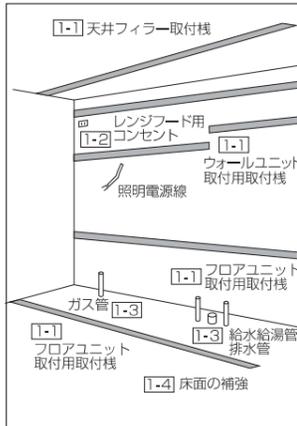
- 余白が少ないために煩雑な印象を与える。
- イラストが少ないために、読まないといけない。読んでもわかりづらい。
- 前提条件や概要の説明がないために、全体像がつかみづらい。

工数の種類が多く、この説明書のターゲットがどの工事をいうのかわからない

平面図だけなのでイメージがつかみづらい

1 事前工事(建設工事)

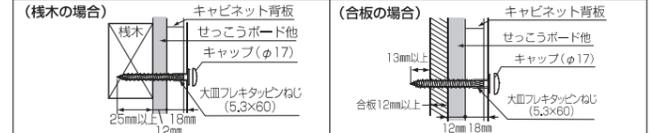
1-1 取付機の取付け **大工工事**



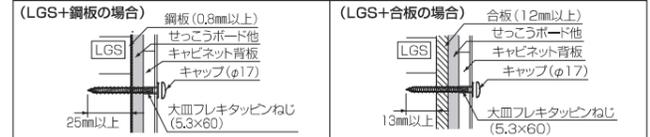
キャビネットを取付・設置する壁面に、取付機を取付けるか、埋込んでください。
せつこうボードで仕上げる壁面は、せつこうボードの内側に取付機を取り付けてください。

警告 以下の事項と条件を必ず守って取付・設置する。守らないとウォールキャビネットが落下するおそれがあります。
取付機の取付けは、関連する法令・規定に従って必ず「有資格者」が行う。

- 本体重量と収納重量の荷重に対して、取付機(下地)が落ちないだけの強度を持たせてください。最大300kg/1キャビネットあたりの強度がもつように柱・間柱に確実に固定してください。
- キャビネットを取付・設置する壁面には、取付機(下地)を取付けるか、埋め込みます。
- 取付機(下地)は広葉樹、マツ・ツガ等の強度のある針葉樹いすれかの無垢材を使用します。また、厚さ30mm以上、幅100mm以上が必要です。
- 合板を取付機(下地)として使用する場合は、ラワン合板などの硬い材質の普通合板(表面が平滑でフシがない、虫くいや、くされない物)を使用します。また、必ず厚さ12mm以上の物を使用してください。
- せつこうボードで仕上げる壁面は、せつこうボードの内側に取付機(下地)を取付けます。



- 鋼板下地の場合・鋼板の変形を防ぐため必ずせつこうボード等で覆ってください。下地からのねじ貫通しを25mm以上としてください。
- 鋼板下地でせつこうボード2枚貼りの場合、その内側に下地を敷設する事は、上記のねじ貫通しが確保できないため設置できません。
- 鋼板の厚みは必ず0.8mm以上の物を使用してください。
- 軽量鉄骨躯体(LGS)の設置間隔は300mm以下を守ってください。



1-2 電源線の取出し・コンセントの取付けについて **電気工事**

警告 電源の取出し・コンセントの取付けは、関連する法令・規定に従って必ず「有資格者」が行う。

1-3 ガス管・給水給湯管・配水管の立上げについて **管工事**

警告 配管の取付けは、関連する法令・規定に従って必ず「有資格者」が行う。

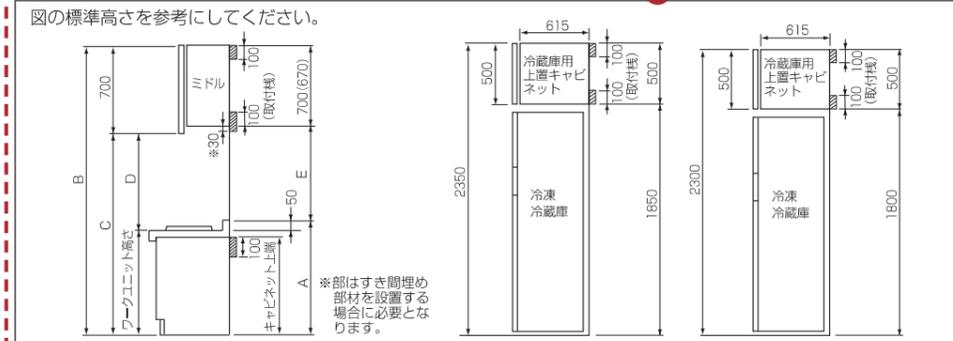
1-4 床面の補強工事について **大工工事**

警告 床面の補強は、関連する法令・規定に従って必ず「有資格者」が行う。

200kg/1キャビネット程度の荷重があるので、それに耐えられる床の補強を依頼してください。特に2重床の場合は補強用支持脚を225~310mm程度の間隔で設置することをオススメします。

2 取付位置・基準線の出し方

2-1 取付位置



※本図はウォールキャビネット高さH=700の時を示す。
（ ）内寸法は、吊戸の扉下端がキャビネットより出ている場合を示す。

| ワークユニット高さ | キャビネット高さ | A | B | C | D | E |
|-----------|----------|-----|------|------|-----|----------|
| 800 | 778 | 850 | 2300 | 1600 | 800 | 750(780) |
| 850 | 828 | 900 | 2350 | 1650 | 800 | 750(780) |
| 900 | 878 | 950 | 2350 | 1650 | 750 | 700(730) |

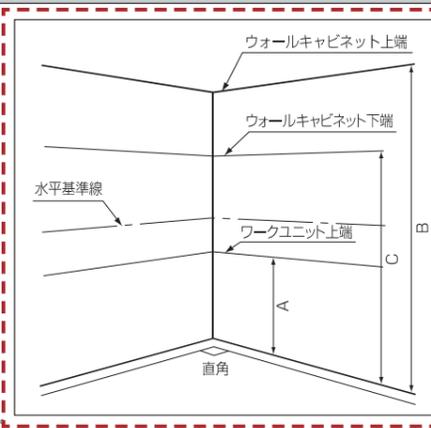
2-2 基準線の出し方

注意 取付・設置前に必ず設置場所の水平、垂直、直角度、レベルなどを正確に調べる。これを基準にキャビネットを取り付ける。ウォールキャビネットの水平が出ていない場合、扉キャッチが正常に作動せず、けがをするおそれがあります。

- ① レーザーや水準器等で各コーナーにポイントを取り、水平基準線を打ってください。水平基準線より上記の取付位置または施工図を参考に基準線を求めて墨を打ってください。
- ② 床、壁面、天井の直角な交わりと水平、垂直をレーザーまたは水準器等で確認してください。

| ワークユニット高さ | A | B | C |
|-----------|-----|------|------------|
| 800 | 778 | 2300 | 1600(1630) |
| 850 | 828 | 2350 | 1650(1680) |
| 900 | 878 | 2350 | 1650(1680) |

※本図はウォールキャビネット高さH=700の時を示す。
※（ ）内寸法は、吊戸の扉下端がキャビネットより出ている場合を示す



名称が突然出てくるため、わかりづらい

2-3 キッチン設置床の耐荷重について

注意 キッチン設置床の耐荷重について

キッチンユニット全体ではおおよそ右表の様な重量になります。設置する床がその荷重に耐えられる材質・構造である事を必ず確認してください。

床強度が弱いと、床・躯体が沈み、様々な不具合の原因となります。

※【参考】グランドピアノ 300~500kg
※一般的な床の場合、根太・束等の間隔を225mm~310mm程度とし、耐荷重を確保するようにご配慮をお願いします。

| ■キッチン1型レイアウトの場合 床耐荷重：480kg/m ² | | ■大型収納など 床耐荷重：1200kg/m ² | |
|--|---------|---------------------------------------|---------|
| 間口W | 重量 (kg) | 間口W | 重量 (kg) |
| 2100 | 580 | 1800 | 950 |
| 2400 | 670 | 2100 | 1110 |
| 2550 | 710 | 2400 | 1260 |
| 2700 | 750 | 2700 | 1420 |
| 3000 | 830 | 3000 | 1580 |